

令和6年3月31日

東御市議会議長

中村 眞一 様

会 派 名 公明党

代表者氏名 高木 真由美

## 令和5年度 政務活動費収支報告書

東御市議会政務活動費の交付に関する規則第7条の規定により、下記のとおり、令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。

## 記

交付金額	240,000	円
支出金額	261,442	円
差引金額	-21,442	円

(支出の内訳)

(単位：円)

科 目	決 算 額	政務活動費充当額	説 明
調 査 研 究 費	252,570	231,128	会派合同視察
調査研究費			公明党・東翔の会会派視察
広 報 費			
広 聴 費			
要望・陳情活動費			
会 議 費			
資 料 作 成 費			
資 料 購 入 費	8,872	8,872	市議会会議録代
人 件 費			
事 務 所 費			
計	261,442	240,000	

(実施事業)

事 業 名	事 業 内 容
視察研修・資料購入	視察研修、定例会等会議録購入

政務活動記録簿

会派名	公明党
事業名	公明党・東翔の会合同視察
実施日	2023, 7月18~20日
参加議員	高木真由美、西山福恵

1 東御市における課題と研修・調査の目的

18日遠野市・子どもたちの新しい読書環境について。

19日花巻市・市独自の奨学金制度を設けることにより、誰もが平等に教育を受けられる支援を充実する必要がある。

20日気仙沼市・震災の教訓を後世に伝え、将来の防災・減災につなげるための取り組みを学んだ。

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額(円)
(該当項目に○)	交通費等	J R代・宿泊費等	147,880
	〃	高速料金	760
○ 調査研究費	〃	視察先土産代	3,487
研修費	〃	視察資料代2000x2人	4,000
広報費	日当	2200x3日x2人	13,200
広聴費	燃料代	1115 x 2	2,229
要請・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費			
人件費			
事務所費			
合計			171,556

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

## 3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 2)

実施日時	令和5年7月18日
視察場所及び部局等	岩手県遠野市
視察事項	子ども本の森 遠野について
報告内容	<p>(1) 視察先概要</p> <p>遠野市は岩手県を縦断する北上高地の中南部に位置し、内陸と沿岸を結ぶ交通・産業の要所。人口は26,300人柳田國男の「遠野物語」の舞台となった市。</p> <p>(2) 視察事項について</p> <p>子ども本の森遠野 日本文化の原点でもあり「遠野物語」が今も息づいている地にあ子どもたちがしっかりと本を読む場を作りたい。東日本大震災後10年間、建築家の安藤氏が同志に声をかけ東北3県に育英資金を寄せてきた。30年、50年先を見据え、子どもがゆめや、希望に向かっていく仕組みづくりとして子ども本の森構想が出来た。子どもを地域で大切に育てることによって、地域への愛着心が育まれることを期待している。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>利用状況として、本の貸し出しは行っておらず、あくまでも本に出合う施設である。子どもが走り回っていても注意しない方針。定員50人時間は90分程度で、予約もできる。本に触れる空間としては素晴らしいところだと感じた。本市においては現在ある図書館を利用者が行きたいと思えるレイアウトにするなど工夫が必要と考える。</p>

(視察先の写真等がある場合は添付)

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 1)

実施日時	令和5年7月19日
視察場所及び部局等	岩手県花巻市
視察事項	市独自の奨学金制度について
報告内容	<p>(1) 視察先概要</p> <p>花巻市は平成18年1市3町の合併により誕生した。岩手県のほぼ中央に位置している。人口は令和5年3月末で91,708人 宮沢賢治 生誕の地</p>
	<p>(2) 視察事項について</p> <p>花巻市では平成18年の合併時に「花巻市奨学基金」を設置しそれを財源に「花巻市奨学金貸与制度」実施している。平成28年より、「ふるさと保育士確保事業」及び「ふるさと奨学生定着事業」を開始し要件を満たせば返還額の半額を補助している。平成29年から返還免除型の奨学金制度として、「はなまき夢応援奨学金」制度を新設し、将来に向けた支援を行っている。</p>
	<p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>奨学金が充実していることに加え、特に生活困窮者に対し教育を受ける機会を平等に受けられる取組もしている。東御市も医学生に対する奨学金制度はあるが、他にも取組めればよいと感じた。</p>

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 1)

実施日時	令和5年7月20日
視察場所及び部局等	宮城県気仙沼市
視察事項	東日本大震災からの復旧・復興事業の取組状況と課題について
報告内容	<p>(1) 視察先概要</p> <p>宮城県最北端に位置している。人口は58,370人。3方に海を臨み、素晴らしいリアス式海岸がある。</p> <p>(2) 視察事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災からの復興及び防災について 被害状況 人的被害1355人 105ヵ所の場所を避難所として」使用。最大20000人に食事提供した。 復興 事業継続のための歩道整備を経済的支援と魚市場の復興も進んでいる。一般住宅はたかだ、内陸に移転を進め災害に強い地域づくりを推進。</li> <li>・防災教育の取組について 災害から児童生徒が自らの身を守り、家族や地域の防災や、災害時の対応について理解し、主体的に行動できる力を身に着けることが出来るように、各学校においてぼうさいきょういくを実施している。東日本大震災の時実際に中学生が避難所運営を行っていることから防災教育の重要である。 東日本大震災遺構伝承館（津波で被災した高校の校舎）を視察。</li> <li>・ソフト面対策として 防災情報システムによる情報発信      防災物資集積配送基地の整備      コロナ禍の避難所設置対策      伝承館の継承</li> </ul> <p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>気仙沼の取り組みを学び、災害が少ない本市においても小さいころからの防災教育は非常に重要なことと感じた。いざという時に自らの命を守る教育は特に重要と考える。</p>

(視察先の写真等がある場合は添付)

政務活動記録簿

会派名	公明党
事業名	議会会派合同行政視察【富山県南砺市、石川県かほく市】
実施日	令和5年11月1日（水）～2日（木）
参加議員	高木真由美、西山福恵

1 東御市における課題と研修・調査の目的

自治体の人口減少が全国的な課題であり、東御市においても移住・定住施策は重点事業として取り組んでいる。今後の施策の参考とするため、先進的取り組みを行っている自治体の視察を実施した。

【南砺市】

・南砺市「副業」応援市民プロジェクトの効果と実績及び今後の交流人口創出に向けた施策について視察し、見識を深める。

【かほく市】

・移住・定住施策について、事業の実績及び取組状況についてお聞きし、見識を深める。

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額（円）
(該当項目に○)	交通費	貸切バス代、有料道路代等 (@22,667円×2名)	45,334
○調査研究費	視察先謝礼	視察先土産代 (@440円×2名)	880
研修費			
広報費	日当	宿泊料、日当 ( (@13,000円+@2,200円×2日) × 2名)	34,800
広聴費			
要請・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費			
人件費			
事務所費			
合計			81,014

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

## 3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 1)

実施日時	令和5年11月1日(水) 午後1時30分～午後3時
視察場所及び 部局等	富山県南砺市議会
視察事項	南砺市「副業」応援市民プロジェクトについて
報告 内 容	<p>(1) 視察先概要</p> <p>南砺市は富山県南西部に位置し、平成16年に8町村が合併し南砺市になった。人口47,126人 主要産業としてアルミニウム、橋梁・建築建材、工作機械を中心とした製造業がおもな産 業である。また、「五箇山合掌造り集落」を有する山間部まで、日本の原風景が息づくま ちでもある。</p> <p>(2) 視察事項について</p> <p>南砺市は急激な人口減少・高齢化の影響により地域の担い手不足という課題に直面し地域 の暮らし等を維持していくことが難しくなってきたことから、市外から地域を盛り上げ、 応援してくれる人を「応援市民」として登録し、応援活動の情報提供を行い応援活動のお 手伝いを市地域づくりを推進。そこからの移住定住を目指している。令和5年9月末での登 録者数は1128名担っている。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>本市においても市外の方が応援してくれるtominityやファンクラブに770名ほどの登録 があるので、実際に活動していただけるように更なる働きかけが必要と考える。学生や若 者が関わることでシビックプライドの醸成につながりUターン者が増えるのではないかと 思う。</p>

(視察先の写真等がある場合は添付)

## 3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 2)

実施日時	令和5年11月2日(木) 午前10時～午前11時30分
視察場所及び 部局等	石川県かほく市議会
視察事項	移住・定住施策について
報 告 内 容	(1) 視察先概要  かほく市は石川県の中央に位置し金沢市に近い人口35000ほどのまちで、せんい、鉄工業・機械工業、電子産業がおもな産業。2004年に3町が合併しかほく市となった。
	(2) 視察事項について  かほく市では、H20年度の出生数の少なさ(241人)をきっかけに、職員8名でワーキンググループを結成し、H22年度から主に若者向けの施策を展開し、H30年度に出生数は300人を超えた。現在移住定住施策の主な取組として、子育てサポートの充実や、住宅取得サービスの充実に取り組んでいる。
	(3) 所感・市政に活かせること  金沢市に近い立地を生かし、子育て支援策と住宅取得支援等の両輪の施策を展開しており、多くの若い移住者がマイホームを取得して定住につながっている。また、室内の遊び場なども充実しており子育て世帯に対し支援が手厚い。本市においても出生数は減少している事を考えると将来像を見据えた思い切った施策が必要と考える。

(視察先の写真等がある場合は添付)



政務活動記録簿

会派名	公明党
事業名	東御市議会定例会等会議録購入
実施日	
参加議員	高木真由美、西山福恵

1 東御市における課題と研修・調査の目的

本会議における議案の採決に至るまでの経過や審議された内容等について、今後の議会活動や市政の調査研究に活用するとともに、会派内議員の正確な情報共有を図るため、東御市議会定例会等の会議録を購入した。

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額(円)
(該当項目に○)	市議会会議録購入代	3月定例会 会議録	2,656
	〃	6月定例会 会議録	1,884
調査研究費	〃	9月定例会 会議録	2,230
研修費	〃	12月定例会 会議録	2,102
広報費			
広聴費			
要請・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費			
人件費			
事務所費			
合計			8,872

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと